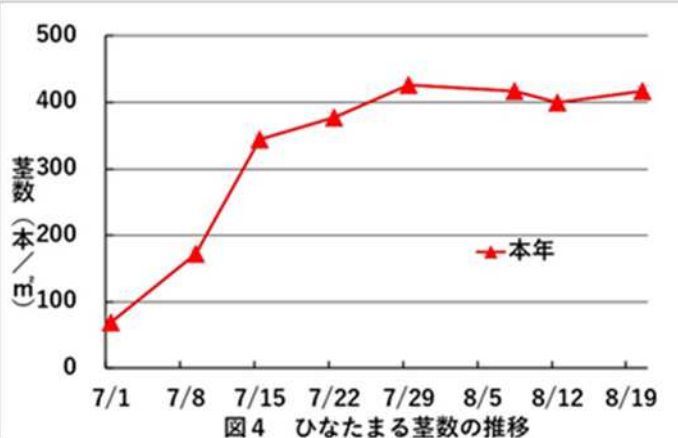
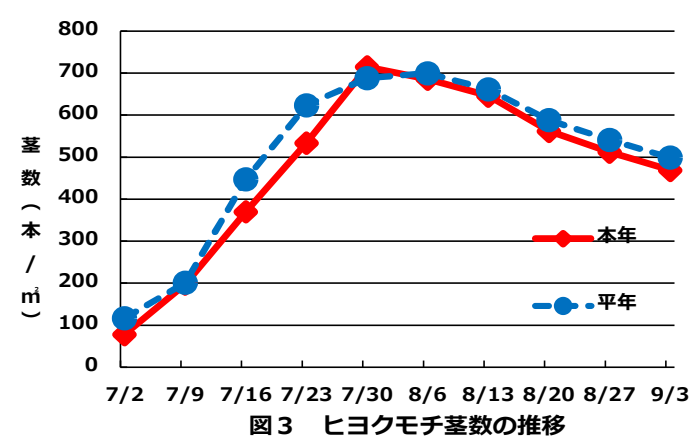
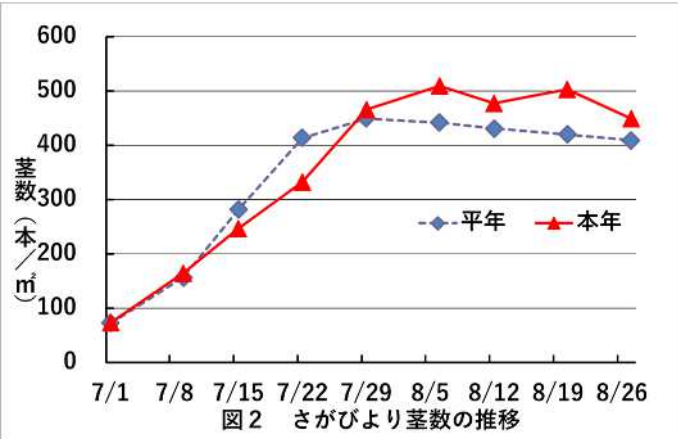
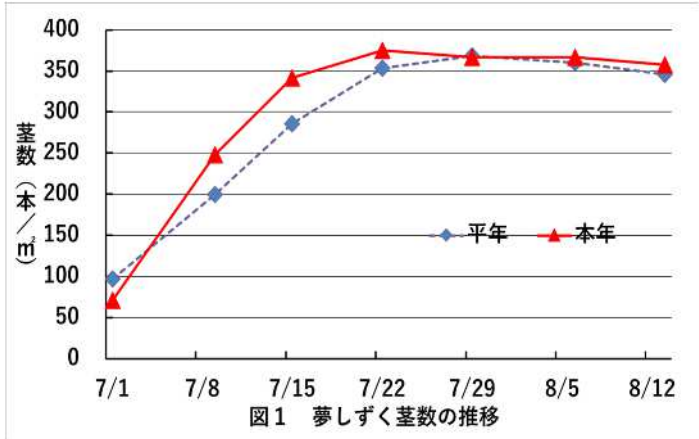


稲・大豆作情報（NO. 10）

1. 水稻作況情報田の生育概況（9月3日現在）

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本／㎡	葉 齢	SPAD	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.0株/㎡	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月16日 (平年並み)				・8月5～6半旬にかけては、平年より高い気温（平年より+2.2℃）で推移し、日照時間は長く（平年比121％）、降水量は少なく（平年比12％）推移した。 ○「夢しずく」は 8/16（平年±0）に、「さがびより」は 8/31（平年±0）に、「ひなたまる」は8/26に出穂期を迎えています。 「ヒヨクモチ」は、出穂始めとなっています。
さがびより 小城市芦刈町	6/22 18.4株/㎡	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月31日 (平年並み)				
ヒヨクモチ 神崎市千代田町	6/20 16.0株/㎡	本 年 平 年 平年比	82.3 84.5 (97)	469 499 (94)	16.0 16.5 (-0.5)	35.0 38.5 (-3.5)	
ひなたまる 佐賀市大和町	6/20 18.4株/㎡	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月26日				

注1) 各品種 前作：麦 注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる
注3) 平年値は、過去10年間（H27～R6）の平均値（さがびよりについては、R1年を除くH27年～R6年の平均値）
注4) ヒヨクモチは昨年度から神崎町のデータを用いています
注5) ひなたまるはR7年から作付けのため、本年のみの記載になります。

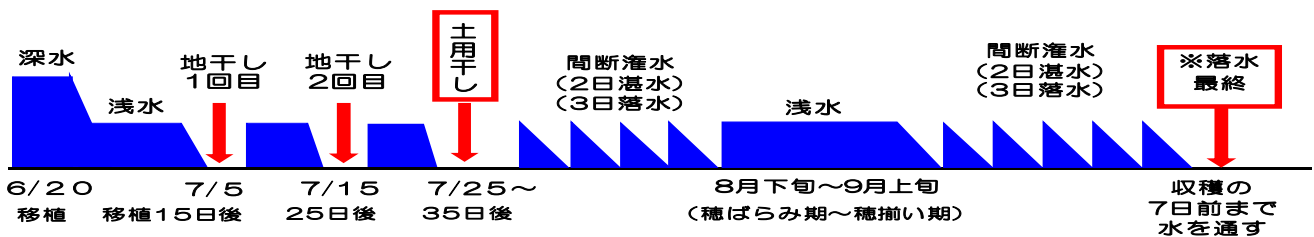


◆農業試験研究センター米づくり情報10号 9月3日(抜粋)

移植日	項目 品種	年次	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	止葉 葉数	概況 (平年と比較して)
6月18日	夢しずく	本年	8/16	未	13.2	【気象】 8月27～9月2日まで ◆平均気温…2.5℃高い ◆日照時間…長い(平年比107%) ◆降水量…少ない(平年比19%) 【出穂期】 「さがびより」…3日早い 「ヒヨクモチ」…2日早い 【止葉葉数】 全品種で平年並み
		平年	8/17	9/23	13.4	
		平年比(差)	-1	-	-0.2	
	ヒノヒカリ	本年	8/26	未	14.5	
		平年	8/27	10/7	14.3	
		平年比(差)	-1	-	+0.2	
6月20日	ひなたまる	本年	8/25	未	15.0	
		前年	8/25	10/7	15.1	
		前年比(差)	±0	-	-0.1	
	さがびより	本年	8/29	未	15.2	
		平年	9/1	10/13	15.0	
		平年比(差)	-3	-	+0.2	
	ヒヨクモチ	本年	9/3	未	16.1	
		平年	9/5	10/28	15.9	
		平年比(差)	-2	-	+0.2	

2. 水稻における今後の管理

○水管理 ～ 圃場の状況に応じた水管理の徹底 ～



「夢しずく」

・早植えの「夢しずく」(5月下旬～6月上旬移植)は、**黄熟期～完熟期**、普通期の「夢しずく」(6月中旬移植)は、**糊熟期**を迎えている。今後の水管理は根の活力維持及び地固めのため間断灌水に移行する。

「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」、「さがびより」、「ヒヨクモチ」

- ・「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」は**乳熟期**を迎え、「さがびより」は**出穂期**を迎えている。
- ・「ヒヨクモチ」は、まもなく出穂期を迎える。
- ・幼穂形成期以降は、稲が水を必要とする時期なので、穂揃い期まで浅水で湛水状態を保つ。

○(全品種共通)

- ・今後も高温が続くと予想される。特に夜間の高温は、穂への養分転流が阻害され、登熟歩合の低下や白未熟粒発生による品質低下が懸念される。そこで、湛水管理を行う際に夕方以降の入水が可能であれば・・・
- ⇒ 昼間の浅水 → 夜間の湛水管理を行い、なるべく地温を下げるよう努め、収量・品質の向上を図る。

○台風対策

台風15号が発生し九州へ接近する可能性があるため、進路によっては水稻への影響が懸念されます。そこで、台風接近時及び台風通過後は下記の管理を行い、影響の軽減に努める。

- ・ **台風接近時** → 強風による稔実阻害（不稔、白穂などの発生）や登熟阻害（粃ズレにより病気や雑菌の感染）が懸念されるため、深水管理とし稲体の振動を少なくする。
いずれの品種も、茎葉の繁茂度が高く、水分の蒸散量が著しい時期にあたるので、必ず深水・湛水を行う。
- ・ **台風通過後** → 茎葉の損傷により根の老化が進むことがあるので、台風通過後は必ず新しい水と入れ替えて、こまめに間断灌水を行い、根の機能維持・生育回復に努める。
水田に海水流入による浸冠水や潮風害を受けた場合は、直ちに排水し真水と入れ替える。できれば掛け流しを行って除塩するか、少なくとも2～3回は水を入れ替え、生育回復に努める。
※台風通過後は受光体制が乱れ、ウンカや白葉枯れ病等が発生しやすくなるため、トビイロウンカの発生には十分注意し、場合により薬剤防除を検討する。

○施肥管理

「ヒヨクモチ」

- ・ 下記の穂肥施用基準を参考に施用する。
- ・ 穂肥施用後の間断灌水では、土壤中に酸素を送り、根の活力を向上するため落水期間を確実にとる。
なお、田面が緩い場合、収穫と麦播種作業の効率化を図るため、落水期間をやや長めにとる。

表1. ヒヨクモチの穂肥施肥基準

	実肥施用量 (kg/10a)
施用時期の目安	穂揃期 (9月8日～10日頃)
LPBB804	—
BB602	10

※「元肥一発肥料」を施用した圃場でも、葉色が8月下旬に葉緑素計（SPAD）で38を切る場合、BB602で10 kg/10aを施用すれば増収効果がある。大豆跡では、上記の5割未満に減肥して施用する。

○病虫害情報（発生および防除）

- ・ 9/3に調査した圃場では、ウンカ類の幼虫（発生量は少ない）及びコブノメイガの幼虫と成虫（発生量は少ない）を確認している。
- ・ 今後も高温・少雨が続く見込みであり、このような条件下では害虫の発生が多くなるため、圃場での発生状況を確認し、適期防除を実施する。

【トビイロウンカ】

- ・ トビイロウンカは梅雨の前線に伴う飛来（6/16～23）に加え、8月10日からの降雨に伴う飛来（8/10～11）が確認されており、特に8/10からの飛来量が多くなっている。
- ・ 8/10～11の飛来虫に関しては、8月下旬から9月上旬に第一世代幼虫、9月下旬から10月中旬に第二世代幼虫が発生すると予測され、中生・晩生品種を中心に被害を及ぼす可能性があるため、発生に応じて臨機防除を検討する。

- ・トビイロウンカの発生予測は、図1のとおりで、防除効果が高い時期は、幼虫ふ化揃い期（各幼虫期の前半）である。【有効薬剤：オーケストラ、エクシード、エミリア など】
- ・防除する場合は、湛水するとともに薬剤が株元まで十分にかかるように丁寧に散布する。

【コブノメイガ】

- ・コブノメイガは6月16日頃から飛来が確認されている。
- ・コブノメイガの発生予測は次ページのとおりで防除適期は幼虫ふ化揃い期(発蛾最盛期の7日後)である。今後、止葉を含む上位3葉に被害が発生すると減収につながるため、発生状況に注意する。
【有効薬剤：ロムダン、トレボンなど】（各自圃場の状況を見ながら防除をおこなう。）
- ・上記の両害虫とも、品種別に発生状況は異なると考えられるため発生状況を確認し、適期防除に努める。
- ・発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認してください。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085
Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp



【ウンカ類・コブノメイガ】

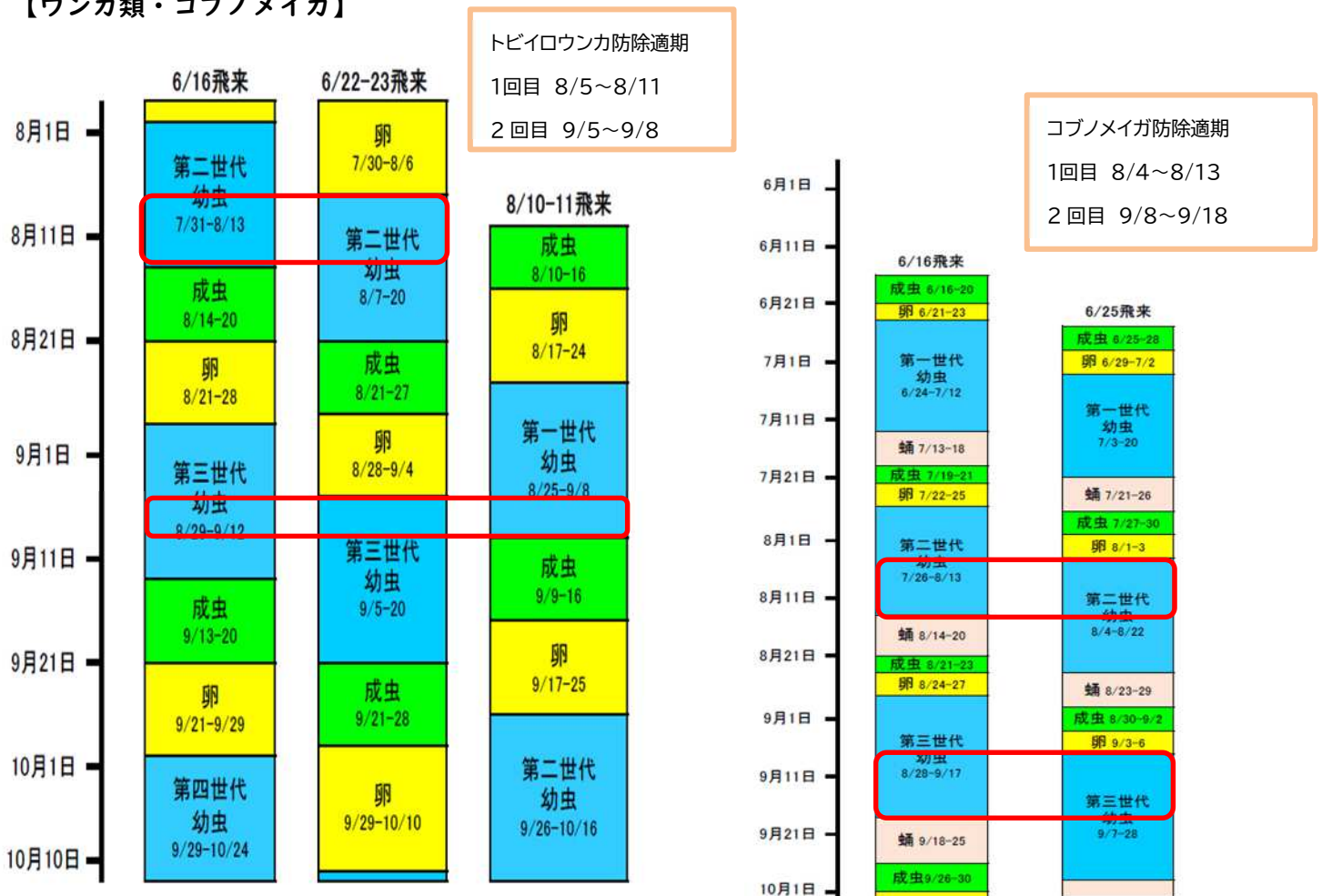


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測（第3版、2025年8月14日作成）

図 コブノメイガ各世代の発生予測（第2版、2025年7月18日作成）

【斑点米カメムシ類】

- ・向こう1か月の気象予報(福岡管区気象台:8/30~9/29)によると、九州北部地方では、今後も平均気温は高くなると予想されているため、カメムシ類は多発生条件となっている。
- ・出穂後の除草は、水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するため、**出穂10日前までに畦畔除草**を行い、山麓部や河川敷付近など例年発生の多い圃場では、**乳熟期(穂揃い期の約10日後)を中心に薬剤防除を徹底**する。なお、防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

表2. 各品種別の草刈り時期と防除時期の目安

品種名	出穂10日前	出穂期(平年)	乳熟期(平年)
ヒノヒカリ	~8/17頃まで	8/27	9/8頃
さがびより	~8/20頃まで	8/30	9/11頃
ヒヨクモチ	~8/31頃まで	9/10	9/22頃

※出穂期(平年)は、佐城管内における情報田のデータの平均値

【イネカメムシ】

- ・イネカメムシは、近年全国的に被害が拡大している斑点米カメムシの一種です。昨年、本県において広く分布していることが確認されています。本種は、水稻の出穂始めに糞を吸汁して不稔にし、大きな減収被害を生じさせます。他の斑点米カメムシ類とは異なる特徴があり、適期の本田防除が必要となります。
- ・管内の山麓部や山麓近くではイネカメムシが確認されている。



イネカメムシの成虫(左)及び幼虫(右)

(防除対策)

- 1) 圃場内をよく観察し、本種の早期発見に努める。特に、周辺より出穂が極端に早い、又は遅い圃場では、本種の飛来が集中するため、注意深く観察する。
- 2) 出穂前に本種の発生を認めた圃場では、通常の斑点米カメムシ類の防除適期である穂揃い期~乳熟期の防除だけでなく、発生状況に応じて出穂期の薬剤散布を実施する。

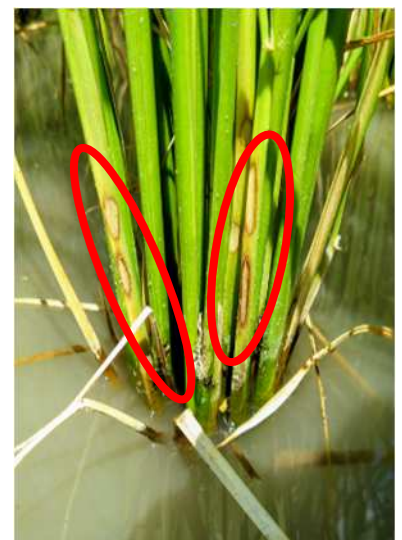
【いもち病】

- ・8月上旬は例年に比べ曇雨が多く、いもち病の発生好適条件であったため、本田で病斑の発生が認められたら臨機防除を検討し、特に上位葉に病斑が見られた時は速やかに防除を実施する。

【紋枯病】

- ・紋枯れ病が多くの圃場で確認されている。予察では、今後も気温が高く、多発生条件となっている。
- ・高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が進展する恐れが高まるので、発生を認めた圃場では病斑が上位の葉鞘に進展(垂直進展)する時期に防除を徹底する。

(液剤、粉剤の場合は出穂20~10日前を目安とする) 病斑が上位3葉の葉鞘に達している場合は直ちに薬剤防除を行う。



ひなたまる(R6年 8月)

※今年度から作付けを開始している「ひなたまる」は紋枯病に弱く、過去には紋枯病多発で倒伏した事例もあるため、**基幹防除を徹底**する。

4.大豆における今後の管理

1 大豆の生育状況

- ・7/12～13 播種の圃場では**莢伸長期始め**となっている。
- ・7月20～22日に播種した圃場では、**開花最盛期**となっているが、同じ播種期でも土壌水分の違いや降雨の状況により、生育格差が大きい。

2 今後の管理

- ・今後、台風の接近や秋雨前線に伴い断続的な降雨も懸念されるため、雨水が早く退水するように排水路（畝立・明渠）の整備を行う。
- ・台風接近に伴う被害として、茎の損傷や葉の裂傷及び倒伏が懸念され、倒伏した場合、収量や品質が低下するので、できるだけ引き起こす。
- ・台風通過後は葉焼病の発生に注意するとともに、紫斑病についても的確に防除する。

※紫斑病

- ・降雨が本病の発生を助長し、収穫前後の降雨の影響が特に大きい。
- ・一部で発生が多い圃場が認められるため、若莢期～子実肥大中期に薬剤散布（防除薬剤：トップジン M 水和剤）を実施する。

3 干ばつと大雨対策について

- ・現在、定期的な降雨が見られており管内の多くの圃場では、適正な土壌水分が確保されていると考えられる。

なお、佐賀県の週間天気予報（佐賀地方气象台：9/4 17時発表）を見ると、9/5～7にかけては概ね好天が続くが、9/8～10にかけては曇一時雨と予測されているため、現在は閉栓し、土壌水分確保に努める。

- ・ただし、今後も高温・乾燥や断続的な降雨など極端な気象条件が予測されるため、コルゲート管の栓については、天気予報を確認し気象条件に応じ閉栓と開栓を選択する。

◆大豆生育期間中に必要な水量

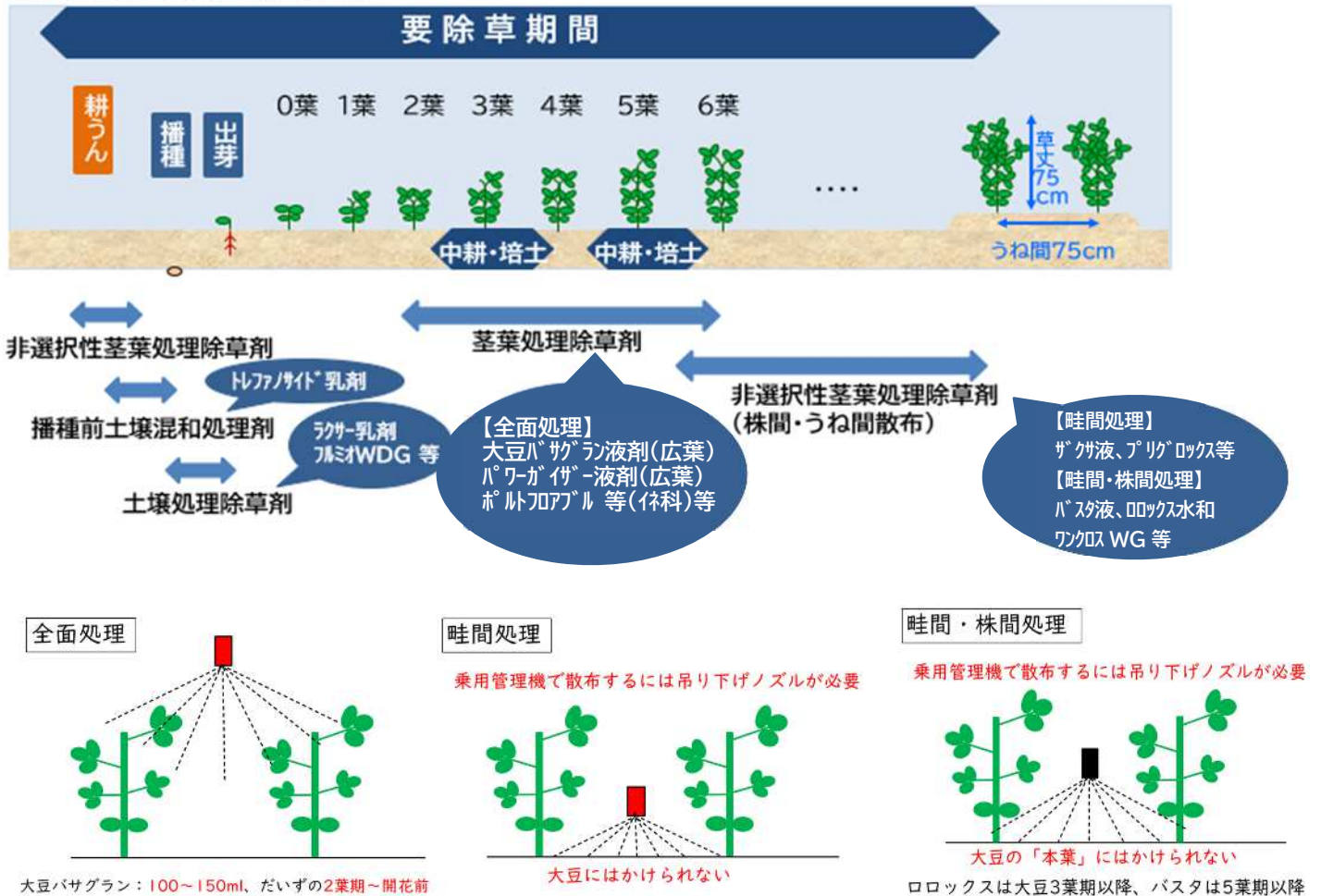


4 雑草防除

○難防除雑草への対応

- ・降雨後に、アサガオ類やホオズキ類の難防除雑草の発生が目立ち始めている。
- ・圃場内に発生している場合、多発すると大豆の作付けが困難になるため、雑草の開花や結実前までの茎葉処理除草剤のスポット処理や手取りの防除に努める。
- ・ツユクサ類（近年、特にカロライナツユクサが蔓延）は土壌処理剤の効果が十分ではないため、「プリグロックスL」や茎葉処理剤（大豆バサグラン等）での除草を基本とする。

■除草技術と実施時期の目安



5 病害虫対策（発生及び防除）

【ハスモンヨトウ】→ 白変葉が発生

- ・生育が早い圃場では白変葉が散見され、ハスモンヨトウが確認されている。
- ・夏季が高温少雨で経過した年は、発生が多く増殖に伴う被害拡大が懸念されるため、フェロモントラップの捕殺数や圃場毎に白変葉の増加に注意する。
- ・ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数は8/6半旬までは、ほぼ平年並み。
- ・防除適期は、若令幼虫による白変葉が見られ始めた頃であり、防除が遅れ中齢幼虫以上（体長約2cm以上）になると、防除効果が低下するため、圃場をよく観察し適期防除を実施する。
- ・防除後約3日経過した後も食害が続いている時は、再防除が必要である。



ハスモンヨトウ若齢による白変葉

更新日: 令和7年9月2日

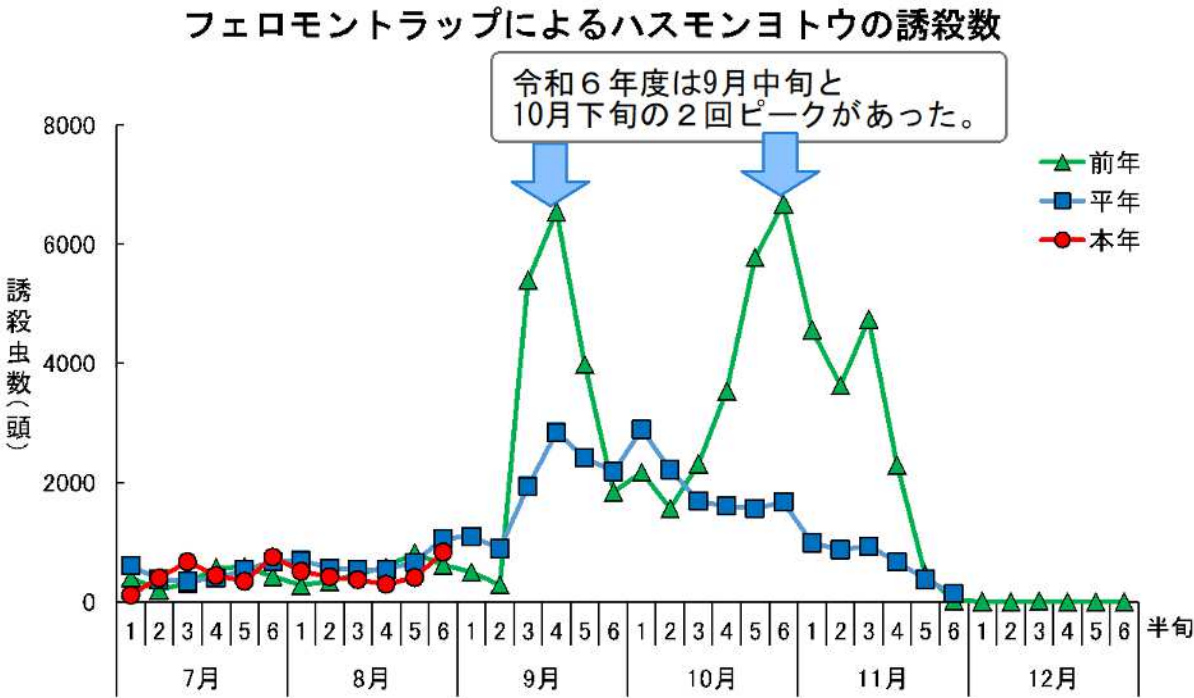


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数
(農業試験研究センター内設置の2トラップの平均値)

- 【オオタバコガ・シロイチモジヨトウ】→ 葉っぱに穴が開く
- ・気象予報によると高温少雨が予測されており、ハスモンヨトウと同様に多発条件となっている。
 - ・葉に大きな穴が開いた株が目立ち、周辺に青虫がいる場合、オオタバコガによる食害の可能性が高く、ウバ類やシロイチモジヨトウが含まれる場合もある。

表1. 防除薬剤 (効果が高い薬剤)

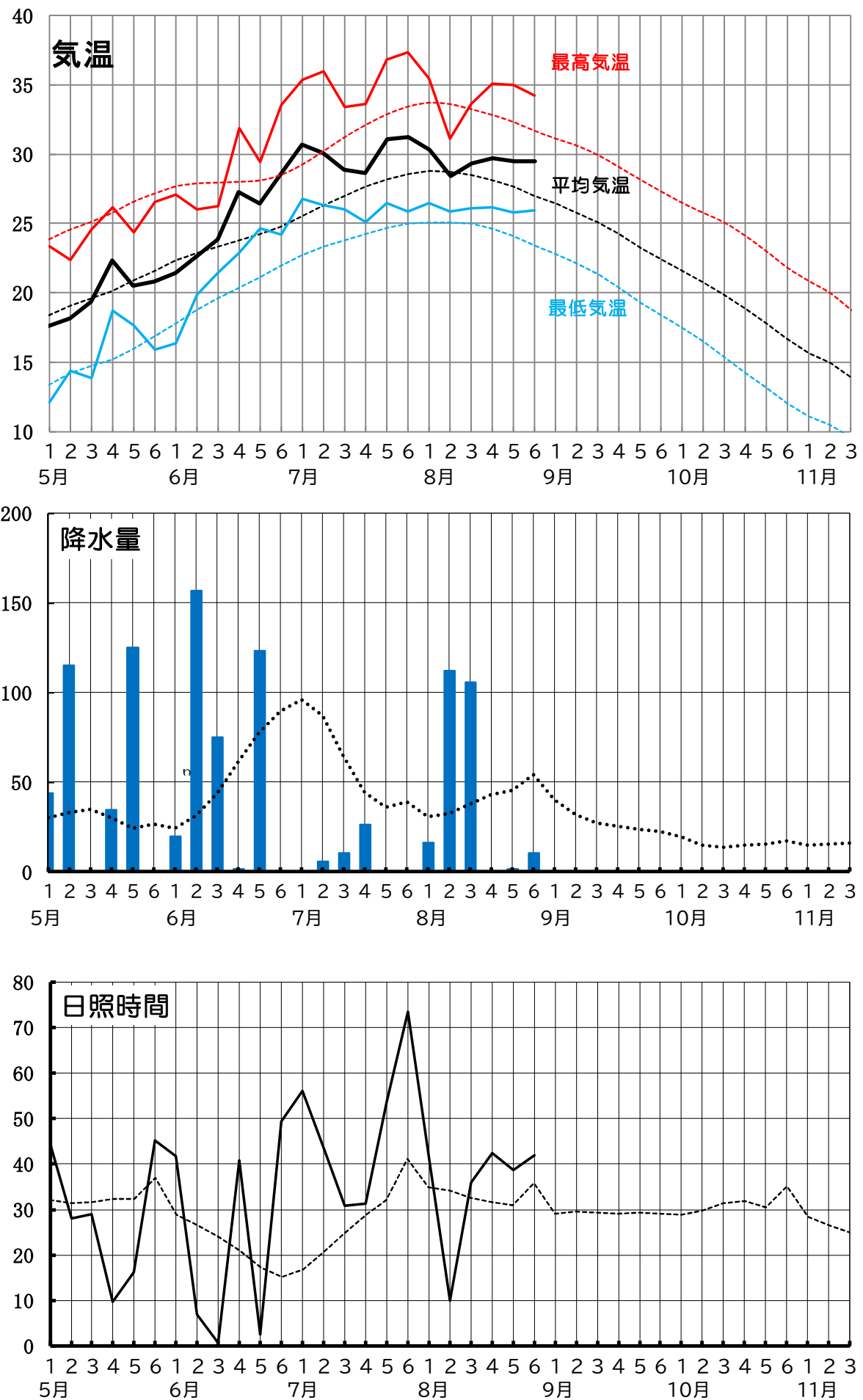
	ハスモンヨトウ	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
薬剤名	ブロフレア, グレーシア, プレオ, ディアナ等	ブロフレア, グレーシア, プレオ, 等

※ハスモンヨトウには、フェニックスフロアブル、プレバソンフロアブルは感受性が低下しており使用を避ける。
※オオタバコガやシロイチモジヨトウには、ノーモルト、トレボンは感受性が低下しており使用を避ける。



令和7年産水稻・大豆生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業振興センター



令和7年産 水稻収穫期予想積算表【9月4日現在】

佐城農業振興センター																			
月	日	平均気温		品 種															
		平年値	本年値	夢しすく				ヒノヒカリ				ひなたまる				さがびより			
		℃	℃	早稲え5/25移植	6/10移植	6/17移植	6/20移植	6/25出穂	6/27出穂	6/27出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/30出穂	6/1出穂	6/20移植	7/2移植		
積算気温		最低値	最高値	早稲え5/25移植	6/10移植	6/17移植	6/20移植	6/25出穂	6/27出穂	6/27出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/30出穂	6/1出穂	6/20移植	7/2移植		
積算気温		最低値	最高値	早稲え5/25移植	6/10移植	6/17移植	6/20移植	6/25出穂	6/27出穂	6/27出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/28出穂	6/30出穂	6/1出穂	6/20移植	7/2移植		
出穂後日数		最短～最長	黄熟割合	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲		
水 分		早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲	早稲～遅稲		
8月	4	28.8	29.0	出 穂 日															
	5	28.8	30.0	30															
	6	28.8	30.8	61															
	7	28.8	29.2	90															
	8	28.7	27.9	118															
	9	28.7	26.4	144															
	10	28.7	27.6	172															
	11	28.6	26.5	198															
	12	28.6	29.6	228	出 穂 期														
	13	28.5	30.2	258	30														
9月	16	28.3	30.3	349	121	30													
	17	28.2	29.2	378	150	60	出 穂 期												
	18	28.1	29.7	408	180	89	30												
	19	28.1	30.1	438	210	119	60	出 穂 期											
	20	28.0	29.4	467	239	149	89	29											
	21	27.9	28.8	496	268	178	118	58											
	22	27.8	29.7	526	298	207	148	88											
	23	27.6	29.2	555	327	236	177	117											
	24	27.5	29.5	584	356	266	206	147											
	25	27.4	30.2	615	387	296	237	177	出 穂 期										
10月	26	27.3	29.8	644	416	326	266	207	30										
	27	27.2	28.3	673	445	354	295	235	58	出 穂 期	出 穂 期								
	28	27.1	29.0	702	474	383	324	264	87	29	29	出 穂 期	出 穂 期						
	29	26.9	30.0	732	504	413	354	294	117	59	59	出 穂 期	出 穂 期						
	30	26.8	30.0	762	534	443	384	324	147	89	89	30	60	出 穂 期					
	31	26.7	29.8	792	564	473	414	354	177	119	119	60	90	30					
	1	26.6	30.2	822	594	503	444	384	207	149	149	90	120	60	出 穂 期				
	2	26.5	28.2	850	622	531	472	412	235	177	177	118	148	88	28				
	3	26.4	30.1	880	652	562	502	442	265	207	207	148	178	118	58	出 穂 期			
	4	26.3		906	678	588	528	469	292	234	234	175	205	145	85	26			
	5	26.2		933	705	614	555	495	318	260	260	201	231	171	111	53			
	6	26.0		959	731	640	581	521	344	286	286	227	257	197	137	79			
	7	25.9		984	756	666	606	547	370	312	312	253	283	223	163	104	出 穂 期		
	8	25.8		1,010	782	692	632	572	396	338	338	279	309	249	189	130	26		
	9	25.7		1,036	808	717	658	598	421	363	363	304	334	274	214	156	52		
	10	25.5		1,061	833	743	683	624	447	389	389	330	360	300	240	181	77		
	11	25.4		1,087	859	768	709	649	472	414	414	355	385	325	265	207	102		
	12	25.3		1,112	884	794	734	674	498	439	439	380	410	350	290	232	128		
	13	25.1		1,137	909	819	759	699	523	465	465	406	436	376	316	257	153		
	14	24.9		1,162	934	844	784	724	548	489	489	430	460	400	340	282	178		
15	24.8		1,187	959	868	809	749	572	514	514	455	485	425	365	307	203			
16	24.6		1,212	984	893	834	774	597	539	539	480	510	450	390	332	227			
17	24.4		1,236	1,008	917	858	798	621	563	563	504	534	474	414	356	252			
18	24.2		1,260	1,032	942	882	822	646	587	587	528	558	498	438	380	276			
19	24.0		1,284	1,056	966	906	846	670	611	611	552	582	522	462	404	300			
20	23.8		1,308	1,080	989	930	870	693	635	635	576	606	546	486	428	324			
21	23.6		1,332	1,104	1,013	954	894	717	659	659	600	630	570	510	452	347			
22	23.4		1,355	1,127	1,036	977	917	740	682	682	623	653	593	533	475	371			
23	23.3		1,378	1,150	1,060	1,000	940	764	706	706	647	677	617	557	498	394			
24	23.1		1,401	1,173	1,083	1,023	964	787	729	729	670	700	640	580	521	417			
25	22.9		1,424	1,196	1,106	1,046	986	810	752	752	693	723	663	603	544	440			
26	22.7		1,447	1,219	1,128	1,069	1,009	832	774	774	715	745	685	625	567	463			
27	22.6		1,470	1,242	1,151	1,092	1,032	855	797	797	738	768	708	648	590	485			
28	22.4		1,492	1,264	1,173	1,114	1,054	877	819	819	760	790	730	670	612	508			
29	22.2		1,514	1,286	1,196	1,136	1,076	900	841	841	782	812	752	692	634	530			
30	22.1		1,536	1,308	1,218	1,158	1,098	922	864	864	805	835	775	715	656	552			
11月	1	21.9				1,240	1,180	1,120	944	885	885	826	856	796	736	678	574		
	2	21.7				1,261	1,202	1,142	965	907	907	848	878	818	758	700	595		
	3	21.6				1,283	1,223	1,164	987	929	929	870	900	840	780	721	617		
	4	21.4				1,304	1,245	1,185	1,008	950	950	891	921	861	801	743	638		
	5	21.2				1,326	1,266	1,206	1,029	971	971	912	942	882	822	764	660		
	6	21.1							1,051	992	992	933	963	903	843	785	681		
	7	20.9							1,071	1,013	1,013	954	984	924	864	806	702		
	8	20.7							1,092	1,034	1,034	975	1,005	945	885	827	722		
	9	20.6							1,113	1,055	1,055	996	1,026	966	906	847	743		
	10	20.4							1,133	1,075	1,075	1,016	1,046	986	926	868	763		
12月	11	20.2							1,153	1,095	1,095	1,036	1,066	1,006	946	888	784		
	12	20.0							1,173	1,115	1,115	1,056	1,086	1,026	966	908	804		
	13	19.8							1,193	1,135	1,135	1,076	1,106	1,046	986	928	823		
	14	19.6							1,213	1,155	1,155	1,096	1,126	1,066	1,006	947	843		
	15	19.4							1,232	1,174	1,174	1,115	1,145	1,085	1,025	967	862		
	16	19.2							1,251	1,193	1,193	1,134	1,164	1,104	1,044	986	882		
	17	19.0							1,270	1,212	1,212	1,153	1,183	1,123	1,063	1,005	901		
	18	18.8							1,289	1,231	1,231	1,172	1,202	1,142	1,082	1,024	919		
	19	18.6							1,308	1,250	1,250	1,191	1,221	1,161	1,101	1,042	938		
	20	18.4							1,326	1,268	1,268	1,209	1,239	1,179	1,119	1,061	956		
1月	21	18.2							1,286	1,227	1,227	1,167	1,197	1,137	1,077	1,019	975		
	22	18.0							1,304	1,245	1,245	1,185	1,215	1,155	1,097	1,039	993		
	23	17.7							1,322	1,263	1,263	1,203	1,233	1,173	1,115	1,057	1,010		
	24	17.5							1,339	1,280	1,280	1,310	1,250	1,190	1,132	1,074	1,028		
	25	17.3							1,357	1,298	1,298	1,328	1,268	1,208	1,149	1,091	1,045		
	26	17.1							1,374	1,315	1,315	1,345	1,285	1,225	1,167	1,109	1,062		
	27	16.9							1,391	1,332	1,332								